

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス にここクラブ		R7年 3月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・1階と2階に分かれているので、用途に分けて使用できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・規定より多く配置されている。	マンツーマンの対応や子どもの数が増えると他の子どもの対応が難しい時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・相談室の活用や、1階と2階があることで個別での対応が必要な児童や気持ちの切り替えをする空間として使いやすい。1階と2階で過ごし分けができています。 ・1階と2階との移動が外階段となっているが、それぞれのスペースはバリアフリーとなっている。	・生活空間は部屋ごとに分けられるが、バリアフリーに関しては元の構造上難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・1階ではパソコンや運動が中心となっている。2階ではひとりひとりが余暇を過ごしていることが多い。1階と2階で遊ぶ内容が異なりメリハリをつけやすい。 ・清掃・消毒など毎日行っている。	ほこりが溜まりやすい場所もあり、こまめに掃除をしたい。 ・物の増加で限りある収納で整理に工夫が必要である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・宿題をする個室スペースとして、相談室を提供している。 ・完全な個室はないが分かれたスペースで過ごせる環境になっている。	相談室は宿題に取り組む児童の時間帯が重なった時に少し困った場面があった。 ・子どもが1人で過ごすことができるスペースがあまりなく、何か工夫できないか思案するが難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・職員にもよるが、ミーティングなどで行うようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・意見などについては職員間で話し合い、改善などにつなげるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・定期的にミーティングを開催することで、職員の困り事や共通認識が必要なことについて話し合っている。	・議題が決まりにくい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	・外部評価は行えていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・外部研修、事業所内研修、外部講師による研修を実施している。 ・月に1度、事業所内研修に取り組み、外部研修も積極的に参加している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・R7年3月より公表予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・ミーティングにて話し合っている。別に問題などあればその都度ミーティングしている。	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・その都度話し合い、行われている。	個別支援会議でモニタリング利報告、計画書を確認しているが、計画書について具体的な意見が出にくい。事例検討等で個々のスキルアップをする必要がある。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・計画書は職員間で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・業務日誌などで共有、児童の状況などに合わせて行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			個別支援会議でモニタリング利報告、計画書を確認しているが、計画書について具体的な意見が出にくい。事例検討等で個々のスキルアップをする必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・レクについての話し合いを定期的に行っている。曜日の振り分け、季節に合わせたプログラムの立案を皆で行っている。 ・レク担当を中心に行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・室内レク、外出レク共に色々なプログラムを立案し実行している。振り返り、インスタの投稿にも力を入れている。 ・室内だけでなく、室外でのレクやイベントへ積極的に出ている。職員の幅広い人脈を利用した外部講師を呼んでのレク、出前講座も利用している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・個別レク、集団レクを適宜組み合わせ、こどもの年齢に合わせた内容にしている。	タイピングの練習などもっと具体的な支援を考えていく必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・移行支援として自立に向けた趣味や得意なこと幅を広げられるような支援行っている。 ・毎日ではないが、打ち合わせをしている。 ・話し合い、打ち合わせができなくてもLINEなどで内容・役割について共有し支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・時間がある時は話し合い、または連絡帳を入力する時に話し合う。その日に話せない場合は次の日に話している。 ・当日話ができずとも、SNS（LINE）で情報共有をしたり、次の日には行うようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・担当を決めて入力している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・6カ月に1回、モニタリングをして計画書の見直しをしている。	・必要に応じてその都度見直しをしていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・遊びの内容、過ごす場所、レクへの参加、おやつ選択等、子どもが選択できる場面を提供している。パターン化した選択、パターン化しない選択があり。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・児発管や児童の担当などが参加している。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・必要な機関と連携をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・送迎時に情報共有を行うことが多い。保護者もLINEなどで対応・調整を行っている。	・下校時間の変更が把握できてない時や、迎えに行くと欠席や早退をしていたことがあった。学校の先生が意識して連絡を下さることもあるが、保護者との連携や確認が重要である。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		・会議へ参加したり、参考資料を提供していただいている。 ・新1年生などは事前に担当者会議に参加し、情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	・卒業生なし ・今は対応していないが、今後対象児童がいれば行う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	・外部講師による研修や助言を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	・地域の公園で一緒に遊ぶことあり。 ・望まれていない保護者がいるため行っていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・電話やLINEにて情報共有している。 ・インスタにアップして様子を公開している。	
保護者へ	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	・随時、電話にて保護者から困り感や問題行動等の相談を受け対応している。 ・研修などで職員間の情報提供はできているが、全ての保護者へはまだ行えていない。	年に1回程度研修の機会をつくるのもよい。 今後保護者向けの企画を立てていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		随時、電話や面談にて保護者から困り感や問題行動等の相談を受け、時間制限することなく対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	6	・望まれない方がいるので、交流は行えていない。	来年度、計画予定である。

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・インスタでプログラム活動を投稿することに力を入れている。長期休暇にはプログラム表やお知らせをLINEを活用することでスムーズに行えている。 ・イベントの様子や日常の様子を細かくインスタにアップしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・研修を行っている。 ・個人情報の扱いやインスタの写真への配慮を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・ひとりひとりの子どもに対して、特性に配慮した支援を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		事業所が地域のイベントへの参加やお手伝いをすることはあるが、事業所の行事に招待したことはない。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・事業所に各種マニュアル作成して設置している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・BCPを策定しており、避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・契約時に服薬、てんかん発作の確認をしている。てんかん発作については必要な情報を共有している。	・詳細な内容を検討する必要がある。また、ひとりひとりが薬の副作用などについて少しずつでも知識をつんでいくことが大切である。自分でも勉強を頑張りたい。 ・服薬状況について定期的な確認をしていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	・診断書はないが、契約時保護者から聞き取りをしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・避難訓練は年2回実施。次回は不審者想定避難訓練を実施予定である。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・ヒヤリハットはその都度振り返り、検討をして、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・外部での研修に参加しており、事業所内では年2回実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか。	7	1	・今まで対象者なし。支援計画書には記載あり。 ・現在まで対象者はいないが、対応する場合は同意を得るようにしている。	